

和地ひとみレポート No.283

来年度からのハミングホールの次の指定管理者を決定 充実した提案内容の実現に期待

■指定管理者制度

…平成15年9月に地方自治法が改正され、公の施設の管理に指定管理者制度が導入されました。この制度は、「公の施設について、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの質の向上を図っていくことで、施設の設置目的を効果的に達成するため」に設けられたものです。言い換えると、公の施設の管理運営に民間の優れた技術力や経営ノウハウを幅広く活用したうえに、公の施設の管理に関する権限を、委任して行わせるということです。また、委託する民間事業者については、議会の議決を得て指定します。

…東大和市においては、平成18年4月から指定管理者制度を導入。現在の導入状況は以下の通りです。

施設名	指定期間	指定管理者
東大和市高齢者在宅サービスセンター むこうはら	H26年4月1日 ～ H31年3月31日	社会福祉法人 向会
東大和市高齢者在宅サービスセンター きよはら	H26年4月1日 ～ H31年3月31日	社会福祉法人 多摩大和園
東大和市高齢者ほっと支援センター きよはら	H26年4月1日 ～ H31年3月31日	社会福祉法人 多摩大和園
東大和市民会館 (ハミングホール)	H26年4月1日 ～ H31年3月31日	JNS 共同事業体
東大和市民体育館 東大和市民プール 東大和立桜が丘市民広場 東大和上仲原公園 野球場(陸上競技場を含む) 東大和上仲原公園 テニスコート	H27年4月1日 ～ H32年3月31日	ロンド・スポーツ ジェイレック 共同事業体

■ハミングホールの指定管理者

…上記の一覧表のとおり、東大和市民会館（以下、ハミングホール）の現在の指定管理者の指定期間は今年度末までです。よって、来年度からの5年間（H31年度～H35年度末）、ハミングホールを管理運営する指定管理者を市は公募。今年の1月17日までの締め切りまでに応募してきた事業者は2社。それぞれどのようにハミングホールを管理、運営するかをまとめた基本事業計画書（≒プレゼン資料）をもとに、副市長、企画財政部長、総務部長、市民部長、福祉部長、社会教育部長6人で構成される東大和市指定管理者選定委員会で審査を行った結果、株式会社コンベンション



リンケージが、次期指定管理者として選定されました。…そして、6月に開催された平成30年第2回市議会定例会に議案として提出。市議会では、慎重な審議を行うために、所管する市議会厚生文教委員会に審議を負託し、その報告をもって議決した結果、原案通り可決となりました。

■選定された管理者の提案は

…今回の応募に際し、株式会社コンベンションリンケージは、前期（H21年度～H25年度）にハミングホールを管理、運営していた指定管理者。今期の指定管理者選定の際も応募しましたが、選定されませんでした。よって、今回、選定されたことはいわゆる“返り咲き”となります。今回の応募に際し、コンベンションリンケージが提出した企画書は68ページにも及びますが、この企画書の写しと収支予算書の写しは議案とともに全議員に配布されました。よって、審議を負託された市議会厚生文教委員会の委員も、この企画書をもとに、様々な審議を行いました。

■コンベンションリンケージの基本事業計画書より

【指定管理業務を行うにあたっての基本方針】

市民の皆様とともに

ハミングホールの管理運営経験者として反省と実績を踏まえ、東大和市の賑わいあるまちづくりを強力に推進します。

【魅力ある施設運営のための基本方針】

- 1: 市民や関係団体との協働、賑わいの創出
- 2: 国内外最高峰の鑑賞事業の提供
- 3: 市民が主役となる積極的な事業展開
- 4: 基本に忠実な安全・安心の管理運営
- 5: ホスピタリティを重視した運営
- 6: 一歩進んだ利用者ケア、サービスと施設稼働率向上
- 7: コンプライアンスを遵守した運営

【魅力ある施設運営に向けた施策】5つの公約

- ①市民協働の鑑賞・創造事業「オーケストラプロジェクト」の定例化(東大和市の合唱団、吹奏楽団、楽器経験者などアマチュアとプロの楽団との共演による協働型コンサートを定例化)
- ②市民ワークショップ・講座年間100コマ開講
- ③施設稼働率60%超の達成
- ④ホール時間貸し制度の提案(ホール空き日の活用と気軽な市民利用の促進を目的として、区分単位＝午前、午後、夜間より割安な料金体系での時間単位の施設貸し出しを行う)
- ⑤関係機関と連携でのまちなか活性化事業を展開(アウトリーチ事業として音楽以外にも地元商店街や商工会などと連携した「まちなかお笑いバトル」や「ビジネスノウハウ塾」など、まちへと波及する新規イベントを提案実行。

(裏面に続く)

■厚生文教委員会での審議は

…厚生文教委員会の審議では、様々な質疑が出ました。まず出た質疑は前述の“返り咲き”に対するもの。現在の指定管理者を選定する際に、選ばれなかったにも関わらず、今回、選ばれた理由について訊ねるものでした。その答弁は「前回選定の際の選ばれなかった理由は、不具合があったわけではなく、選定時する際に、それぞれの提案内容を審査した結果」とのこと。

…また、一番多く出た質疑は指定管理者制度導入に対する市の認識とメリット、さらに、そこに照らし合わせた場合の今回の選定についての確認に関するものでした。それらの市側の答弁の概要は以下の通りです。

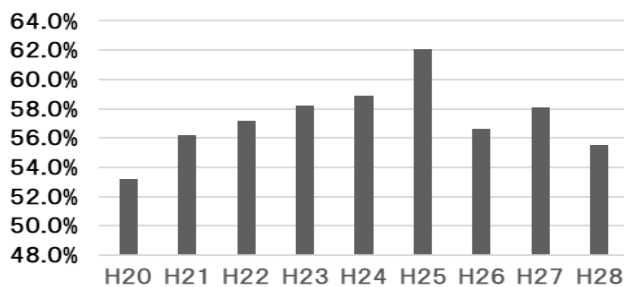
◆東大和市でも行政大綱などにより、持続可能な行財政運営のために民間活力の知見を東大和市に取り入れて進めるという方針を出している。新たな指定管理者の選定を行う段階でも、その点を確認しながら進めて総論としての市民サービスの向上を図れるようにしなければならないという点においては、今回もサービスの向上を特に重点を置く形で選定を真摯に行った。

◆今回の指定管理者を選定した理由について、5項目ほど挙げることができる。①来場者増について、積極的な取り組みが期待できること。②地域の芸術・文化の振興について、積極的な取り組みが期待できること。③施設の稼働率の改善について、積極的な取り組みが期待できること。④にぎわいの創出等について、積極的な取り組みが期待できること。⑤日本一子育てしやすいまちを目指した市の施策に即し、子供及び子育て世代等に向けた芸術・文化の振興事業及び奨励、普及事業に関する取り組みが提案されていることだ。これらに基づいたさまざまな提案があったことで、評価が高かった。具体的に評価が高かった点については、年間100こまの市民を対象とした講座やワークショップの事業展開を図るという提案がなされたこと、子供及び子育て世帯等に対し、ゼロ歳から楽しめる親子向けのコンサート、あるいは親子で体験できるファミリー層の参加を促す仕掛けを心がけていくという提案があったことが挙げられる。

◆施設稼働率 60%超の達成についてだが、現指定管理者での施設の稼働率はその前の指定管理者、すなわち、今回選定された事業者よりも低いという認識は当然あったが、現事業者もアウトリーチ事業など様々な事業でその稼働率を上げようという努力は続けていたことは評価していた。しかし、今回の指定管理者選定に当たっては、過去の実績ということではなく、今後5年間どうやって施設を良くしていくのか、市民ニーズの満足度を上げていくのか、稼働率を上げていくのかという点で評価をさせていただいた。

今回の指定管理者の提案が現行の率よりもかなり高い目標値であったため、事業者には特別なノウハウがあることで、具体的な数字が示せるのだと感じた。また、両方の応募者が運営している施設を事前に拝見した際、今回選定した事業者の施設では、従業員の個々人がホスピタリティ、おもてなしの精神を大切にするという企業風土が感じられ、そのことも稼働率に影響していると感じた。

全施設の稼働率の推移



※H20年度は市の直営で53.2%。

◆施設稼働率 60%超の達成についてだが、現指定管理者での施設の稼働率が、今回選定された事業者よりも低いという認識は当然あったが、現事業者も稼働率を上げようという努力は続けていたことは評価していた。しかし、今回の指定管理者選定に当たっては、過去の実績ということではなく、今後5年間どうやって施設を良くしていくのか、市民ニーズの満足度を上げていくのか、稼働率を上げていくのかという点で評価をさせていただいた。今回の指定管理者の提案が現行の率よりもかなり高い目標値であったため、事業者には特別なノウハウがあることで、具体的な数字が示せるのだと感じた。また、両応募者の運営施設を事前に拝見した際、今回選定した事業者の施設では、従業員の個々人がホスピタリティ、おもてなしの精神を大切にするという企業風土が感じられ、そのことも稼働率に影響していると感じた。

◆現指定管理者においても、“うまかんべえ～祭“や”産業まつり“などに対し、アウトリーチ事業を展開していただいたことは、高く評価しているところだ。しかし、今回、選定した指定管理者については、やはりアウトリーチ事業によって、市民会館を中心としたにぎわいの創出を大切にすることが伝わってきた。具体的にはワークショップ講座の開催などで、外から市民を呼び込んできて、次にその内容を例えば“うまかんべえ～祭“などで発表するなどといった形の事業につなげていくものだ。市民会館自体をにぎわいの創出の場所とするということが1つのコンセプトになっていると理解している。

■基本事業計画を実現してこそ

…指定管理者制度導入で、上記のとおり市の直営より稼働率はアップしています。また、コストの面でも、市が直営していた平成14年度から18年度までの5年間の指定管理委託料に相当する額が7億2,793万円という数字に対し、今回の5カ年の指定管理委託料は4億8,935万円なので効率化できています。

…一方で、現指定管理者選定の際も、“地域を巻き込んだネットワークを形成する”という提案がポイントで選定されていたにも関わらず、その取組みが見られず議会でも取り上げられたほどでした。コンベンションリンケージが提出した企画書の内容は魅力的で、これが実現できれば、東大和市の文化度もあがり、活性化もすると感じました。選定した時にポイントとなった提案内容などについては、来期からは市もきちんとチェックすることを徹底してほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102